

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 馬 借作成日: 平成 25 年 08 月 07日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	毎月、昼夜を想定した避難訓練を実施し、夜間2人の職員で、利用者18名が1階から4階に、宿泊している利用者を、安全に避難誘導出来る方法を、身体で覚えて、実践に向けて取り組んでいく。	消防車が通報から3～5分で、現場に到着出来るので、それ以降は利用者の見守りに徹する等、消防署と、常に話し合い、利用者全員が安全に避難出来る避難訓練を徹底していく。	6ヶ月
2	51	外出の支援	利用者の重度化が進み、全員の外出が困難になってきているが、職員の頑張りと利用者の生きがいに繋がる戸外に出掛ける支援をして、一日一日を大切に暮らしていく。	ボランティアや、家族の協力を得て、外出は、一対一で対応し、安全で、利用者のメリハリの利いた、楽しい外出になるように、協力者を募集し、きめ細かい、外出の支援に繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。